



床材の 転倒事故 対策



DSグリップ



※写真はイメージです

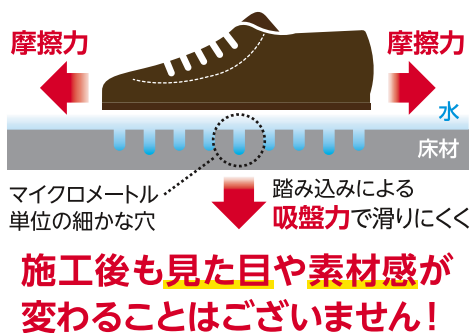


とヤツとしたこと
ありませんか？

濡れた大理石床は、 滑りやすく、転倒事故のもと！

大理石などの石材の床は滑り止め処理を施さないと転倒事故の大きな原因となります。昨今、高齢化が進む日本では、転倒事故が起きないように、足元の安全を保つ事も建築物の施設管理・維持管理の中で大変重要です。

「大理石床」はなぜ滑りにくくなるのか？



DSグリップ施工により
表面にマイクロメートル単位
の微細な凹凸を作り出します。

できた微細な凹凸が
床材と鞋底、足裏との摩擦抵抗と
なり、細かな穴が吸盤の役目を
して滑りにくくなります。

対象施設・環境

ケアハウス、健康ランド（スーパー銭湯）、ゴルフ場、ホテルエントランス、ビルフロア、パチンコ店、コンビニなど

※一例です。対象でない場合でも是非ご相談ください。

対象床材

床材：大理石・磁器タイル・陶器質タイル・セラミックタイル・テラゾータイル

プロの施工

床の素材や種類、硬さに合った液体を選定し、適正な養生時間を設けて施工します。短時間の施工とプロの技術で転倒事故を防ぎます。

見積り
無料

メンテナンスによる効果の維持

定期的にメンテナンスすることにより5年以上の滑り止め効果が期待できます。

※環境、床材により異なります。
〈メンテナンス用の洗浄液を別売り〉

大理石など床の転倒対策で防滑効果

床面(路面)の滑りを目に見える形で

滑り(摩擦)の測定方法はいくつかあり、統一された規格・基準などはありませんでした。

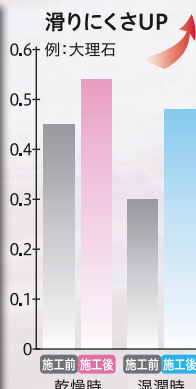
しかし、国土交通省「バリアフリー法」や各政令指定都市等で滑り抵抗係数(CSR値)が採用された事により、国内での歩行時における床・路面の滑りは、CSR値で管理するようになりました。

これによって、目に見える管理が可能となったのです。

私たちの仕事は、施設管理のお手伝いとして、その数値を見える形でお客様にお届けする事です。

滑り測定結果成績表

測定者	株式会社 ECO・THINK			
測定機	ONO-PPSM (JIS A1454)			
使用溶剤	トプスライド01	磁器質タイル ホーロー 自然石		
	トプスライド02	セラミックタイル 御影石鏡面		
	トプスライド03	大理石 テラゾー		
対象石材	施工前(単位:CSR)		施工後(単位:CSR)	
	乾燥時	湿潤時	乾燥時	湿潤時
磁器質タイル	0.43	0.32	0.83	0.69
御影石(鏡面)	0.45	0.3	0.81	0.71
セラミックタイル(鏡面)	0.44	0.3	0.59	0.49
大理石(鏡面)	0.45	0.3	0.54	0.48
テラゾー	0.45	0.33	0.76	0.69
ホーロー	0.45	0.34	0.71	0.68
自然石	0.45	0.38	0.67	0.62



※上記は、測定結果の一例です

低コストで、短い工期

施工基本手順

- 安全確認
- 施工前抵抗値測定
- 前洗い工事
- 滑り止め工事
- 後洗浄
- 施工後抵抗値測定



施工前抵抗値測定



前洗い工事



滑り止め工事



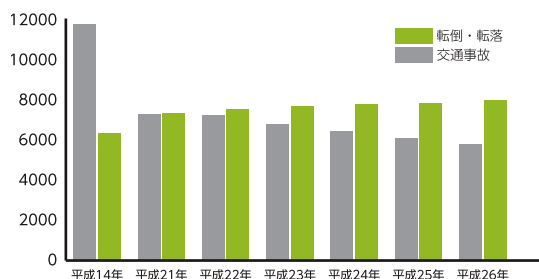
施工後抵抗値測定

CSR測定について

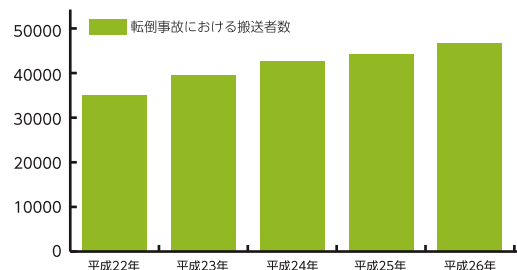
- 客観的な立場でCSR値を測定し、報告書として書面、もしくは電子データとしてお届けいたします。
- CSR試験は、乾燥し清掃した状態、及び、湿潤状態(介在物:水道水)で測定します。

※CSRについては、客観的にご指定場所試料を測定するものであり当該施設や床材の安全・危険を評価するものではありません。

近年の転倒事故の増加と店舗側の賠償リスク



転倒・転落死者は年々増加し、交通事故での死者数を追い越しました。



判決例① 足拭きマットが滑り転倒：みずほ銀行に92万円の支払い命令
みずほ銀行の支店出入り口にあった足拭きマットが滑り転倒、頭や腰を打撲するなどの怪我をした。

判決：原告(転倒者)勝訴

判決理由：マットの裏側が濡れており、足を乗せたことで滑ったのが原因。客の安全を確保する必要があるのに、管理を業者に任せきりにしていたと銀行側の注意義務違反を認めた。(東京高裁2014年3月14日)

判決例② 雨で床滑り転倒：しまむらに572万円の支払い命令

ファッションセンターしまむらを訪れた女性が、入り口付近に置いてあった傘袋のスタンド近くで転倒し、右太ももを骨折。後遺障害で右股関節が動かしにくくなった。

判決：原告(転倒者)勝訴

判決理由：客が滑って転倒する危険があったことは明らかで、滑りやすい状態が放置されていたとして、慰謝料などの支払いを命じた。(福岡地裁2011年11月29日)

※当製品は滑り止めの一助になるもので、生じた一切の損害に対しては責任を負いませんので予めご了承ください。

発売元

株式会社 ティーエフサービス

本社 〒959-1264 新潟県燕市八王寺2494
TEL (0256)64-8212 FAX (0256)64-8213

首都圏営業所 〒123-0841 東京都足立区西新井3-7-10

中部営業所 〒448-0862 愛知県刈谷市野田新町2-605-101

<https://www.tf-service.jp>



製造物責任法(PL法)に
対応した製品です。

●MADE IN JAPAN

取扱店